

第 177 回幹事会議事要旨

日 時 平成 25 年 8 月 22 日 (木) 13:40~15:50、17:50~18:40

場 所 日本学術会議大会議室

出席者 (会長) 大西 隆

(副会長) 小林 良彰、家 泰弘、春日 文子

(第一部) 大沢 真理、後藤 弘子、丸井 浩

(第二部) 山本 正幸、生源寺 眞一、須田 年生

(第三部) 相原 博昭、土井 美和子

(事務局長) 田口 和也

(事務局次長) 飯島 信也

(課長等) 渡邊 清、長谷川 和好、中澤 貴生、盛田 謙二、佐藤 正一

審議事項等

- 1 前回議事要旨の確認が行われた。
- 2 前回の幹事会以降の諸報告事項について確認が行われた。
- 3 以下の公開審議が行われた。
 - (1) 科学研究における健全性の向上に関する検討委員会運営要綱の一部改正（新規設置 1 件）を決定した。
 - 新規設置
 - ・臨床試験制度検討分科会
 - (2) 分野別委員会運営要綱の一部改正（新規設置 2 件、調査審議事項の追加 1 件）及び分科会等委員（2 分科会、1 小委員会）を決定した。
 - 新規設置
 - ・地域研究委員会 アジアの地域協力の学術的ネットワーク構築分科会
 - ・総合工学委員会・機械工学委員会合同 計算科学シミュレーションと工学設計分科会 ポストペタスケール高性能計算に資する可視化処理小委員会
 - 調査審議事項の追加
 - ・情報学委員会 情報科学技術教育分科会
 - (3) 人口減少が社会の諸システムに及ぼす影響に関する長期展望委員会における委員を決定した。
 - (4) 我が国の研究力強化に資する研究人材雇用制度検討委員会における委員を決定した。
 - (5) 科学者からの自律的な科学情報の発信の在り方検討委員会における委員を決定した。
 - (6) 日本学術会議の第三者評価機能に関する検討委員会における委員を決定した。
 - (7) 報告「我が国における歯科医学の現状と国際比較 2013」について、歯学委員会の山口朗幹事より説明があり、審議の結果、所要の修文を条件に承認した。
 - (8) 提言「無煙タバコ製品（スヌースを含む）の蔓延による健康被害の防止に向

けて」について、健康・生活科学委員会・歯学委員会合同脱タバコ社会の実現分科会の矢野栄二委員長、望月友美子委員より説明があり、審議の結果、所要の修文を条件に承認した。

(9) 報告「全員加盟制医師組織による専門職自律の確立ー国民に信頼される医療の実現のためにー」について、医師の専門職自律の在り方に関する検討委員会の樋口輝彦副委員長、桐野高明委員より説明があり、審議の結果、所要の修文を条件に承認した。

(10) 平成 25 年度代表派遣について、実施計画に基づく 10-12 月期の会議派遣者を決定した。

(11) 第 6 回世界科学フォーラムに会員を派遣することを決定した。

(12) 日本学術会議協力学術研究団体の指定（5 団体）を承認した。

(13) 16 件のシンポジウム等の開催、2 件の国際会議及び 4 件の国内会議の後援を決定した。

(14) フューチャーアース事務局誘致に関して、学術会議が申請の主体となることを決定した。

(15) 第 11 回産学官連携功労者表彰授賞式を主催することを決定した。

4 その他事項として、春日副会長から、トルコへの人権問題嘆願書を出した後の報告並びに ICSU 地域事務所レビューパネル及びフランス学士院財団への専門家の推薦についての報告があった。また、今後の幹事会の日程について確認した。

5 以下の非公開審議が行われた。

(1) 東日本大震災復興支援委員会における分科会委員（特任連携会員）を決定した。

(2) 分野別委員会における分科会委員（特任連携会員）及び小委員会委員を決定した。

(3) 日本学術会議が加入する国際学術団体の脱退及び加入を決定した。

(4) 第 6 回世界科学フォーラムへの派遣に関連し、国際業務に参画するための特任連携会員を決定した。